◆◆リアル+分散型 TEKU-TEKU：「大宮駅東口地域、公共施設再編のまちを歩く」◆◆

■企画主旨：大宮駅東口地域では、市が市民・専門家と対話し2010年に作成した「大宮駅周辺地域戦略ビジョン*」に掲げるまちの将来像「東日本の顔となるおもてなしあふれるまち」を目指してまちづくりが進められています。（*ビジョンにある「ターミナル街区」を中心としたまちづくりについて 2018 年には大宮駅グランドセントラルステーション化構想、2021 年に「大宮ＧＣＳプラン2020」を市が策定）

大宮区役所の移転・建替や市民会館おおみやの再開発事業への移転、公民連携による旧大宮図書館の活用などの公共施設の再編が、まちづくりの先導役となっています。

また、武蔵一宮氷川神社の延長 2 ㎞にわたる参道の緑地資源を活かすこともこの街の長年のテーマです。

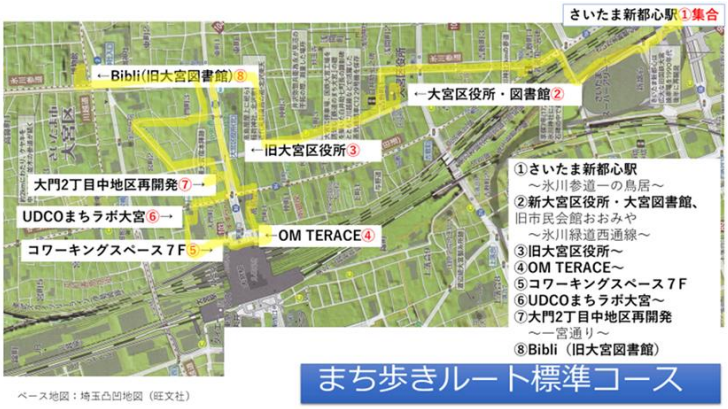
さいたま新都心駅から氷川参道一の鳥居をくぐり大宮区役所、駅前の大門二再開発などを見て、二の鳥居近くの公民連携施設 Bibli（旧大宮図書館）まで歩き、公共施設再編の連鎖型まちづくりを手掛かりに大宮のまちを評価してみます。

■企画説明：2022 年８月 11 日（祝）19 時半～（於：オンライン　ZOOM 会議室）

■リアルまち歩き：2022 年９月 10 日（土）13 時半～17 時

■歩く期間：2022 年８月 11 日～9 月 30（金）までに各自で

■標準コース：さいたま新都心駅～氷川参道一の鳥居～新大宮区役所・大宮図書館、旧市民会館おおみや～氷川緑道西通線～旧大宮区役所・大宮小学校～OM TERACE～コワーキングスペース７F～UDCO まちラボ大宮～大門 2 丁目中地区再開発～クロックキッチン～平成広場～Bibli（旧大宮図書館）～一宮通～大宮駅



■追加健脚コース：公民連携施設 Babli～氷川神社本殿～埼玉県立歴史と民族の博物館（前川国男設計）～大宮公園駅～漫画会館～盆栽四季の家～盆栽美術館～土呂駅

■参加者（敬称略、以下同じ）：井手幸人、上野朋子、大竹亮、栗原徹、重永真理子、高橋謙、椿真吾、恒川磯雄、原田一郎、原久子、藤井正男、藤井幹也、松野栄明、横田宣明

■案内協力：石黒卓（UDCO）、宮本恭嗣（Bibli、ハムハウス）、若林祥文（都市づくり NPO さいたまのシェア本棚）、コワーキングスペース７F 事務局

■コーディネーター：古里実

■参加者による評価結果

（評価の計算：A：非常に良い=5点、B：良い＝3点、C：普通＝1点、D:良くない＝0点）

1　大宮駅東口地域全体の公共施設再編の連鎖型まちづくりについて：AAAAABBBBBBBBCC＝3．4

A：公共施設を個別に建替えるのではなく集約化することで相乗効果が期待でき、利便性の高い再開発ビルに公共施設が入ることで、より多くの人が利用しやすくなるなど、公共施設を連鎖させるという発想はとても良いと思う。

A：「公共施設再編の連鎖型まちづくり」というコンセプトがおもしろい。施設更新のタイミングと開発圧力、財政的余裕の絶妙なバランスの上に立っているので、ダイレクトに参考となる自治体はそれほど多くは無いと思うが、色々なヒントは隠れていると思う。

▲出典：都市づくり NPO さいたま情報紙「つくたま No11」

A：公共施設再編で地区の特色と魅力が UP しているように思います。なによりも暮らしている方にとって使いやすくなっているのではないでしょうか。

A：公共施設の跡地を財源確保のタネ地としてしか捉えず、その後の「まち」のことなど歯牙にも留めない他の行政とはずいぶんと姿勢が違いますよね。新たな「まちの核」として周辺へいかに寄与していくか、楽しみです。

A：街づくりのことはよく分かりませんが、大宮の今まで知らなかった場所を案内してもらえて新鮮でした。

B：止まっていた事業がやっと動き出したと思いました。

B：公共施設の再編を、面的に捉えて多様な事業形態に対応しながら計画的に再配置している。地域とのインタラクティブな関係がつくれると良いと思うが、施設の新しい運営による効果に期待したい。

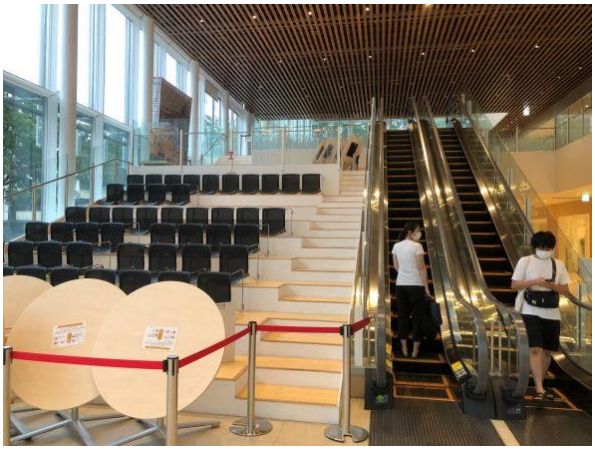
B：多数の公共施設の更新時期にあたり、積極的に再編することで市民サービスの向上と街の活性化が図られつつある。旧大宮区役所の場所を今後どうするかが、まちづくりのカギだと思う。

B: 連鎖型まちづくりというストーリーを組み立てたことを評価。駅直近では、公共施設再編と再開発事業を関係づけ、東口の活性化と駅に近い大宮門街に市民会館を入れ市民会館の利便性・集客力を高めた⇒駅から離れるにしたがい、市民活動誘発型に(Libli)。

回遊性を考える時、目的があって大宮を訪れる来街者と、地元の生活者が調和すると良いと思う。
Ｂ：連鎖型によって、時間軸による変化など丁寧にそのエリアの検討を深めていくことができるのではないかと思う。時には変更や修正も。３つのエリアごとにコンセプトをたて、エリアのトリガーになるよう施設を作っていることがよくわかる。今後に期待。
Ｂ：住民にとってなじみのある公共施設を（用途を変えつつ）活用し続ける意向はとてもよいと思います。
Ｂ：個々の事業については課題があるが、まちづくりの先導役としては評価できる。
Ｂ：新しい区役所、図書館、市民ホールが完成し各施設とも最新の機能にアップデートされていました。一方で新しい使い道が決まっていない旧施設も有るとの事で「連鎖的まちづくり」を謳っていたにで意外に思いました。不要なモノなら無理に作らない方が良いのですが。
Ｃ：大宮駅西口周辺は公共用地が無く店舗等が密集しているので、大宮駅周辺地域戦略ビジョン検討対象区域（190ha）という広い範囲での連鎖型まちづくりの取組みが重要である。政令市でなければ実施できない規模である。
Ｃ：狭い範囲に集中度を維持していること、参道を活かしていることは評価。しかし、周辺の建物が余りにも無秩序（特に新築マンションの景観などの高層建築）なので、全体的なまちづくりという点では高い評価はしづらい。

２　新大宮区役所・大宮図書館について（全体景観、区役所、図書館、カフェ、外構など）：
AAAAAAAABBBBBBB＝４．１

▲大宮区役所・大宮図書館（2019 年、シーラカンス設計）



▲図書館１階入口とイベントスペース

Ａ：平面的な空間構成はシンプルだが、吹抜などで高さに変化を持たせ、心地よい空間を演出している。外観も奇をてらい過ぎず公共建築として相応しい。
Ａ：氷川緑道の緑をうまく取り入れた居心地がいいカフェのような読書スペースは素晴らしい。

Ａ：絹のモチーフは遠景では建物が繊細な印象に。・図書館：氷川参道の緑を存分に感じ、適度にくつろぎながら静かに読書や調べものができる大変心地よい空間。・区役所のフリースペース：図書館と併せた利用(例えば調べもの途中での飲食、中高生など教え合いながら勉強)をそれとなく仕込んでいる。
Ａ：市民に親しみやすく開かれた区役所になっている。図書館は明るく参道の緑と一体になっており大変心地よく贅沢な空間。隣接の旧ホールがどのようになるかが重要なポイント。
Ａ：図書館の２階から参道の緑が望め読書や学習に適した空間を提供していてとても良い。閲覧席も独立性の高いレイアウトで今風でした。区役所の窓口機能は 1 階の入り口付近に集約されていて使い勝手も良さそうです。
Ａ：いつも利用しており、建物も気に入っていますが、窓から見える緑についてはあまり意識していなかったのでなるほどと思いました。参道とのバランスというか、景観もとてもいいと思います。個人的には全国各地の特徴のある図書館だけを目当てに旅をしてみたいところです。
Ａ：氷川参道というシンボリックな場所に面して区役所や図書館があり、建物デザインも良く、内部も開放的で、周囲も緑豊かで非常に素晴らしい。ただ、区役所の立地としてはやや不便かも。
Ａ：カフェや図書館において氷川参道の緑を背景として、生かした計画は秀逸である。せっかくの公共空間が、外に開いていないのが、少し残念。
Ｂ：周辺空間にマッチしていると思いました。
Ｂ：政令市となって整備された新しい区役所という印象を持った。旧大宮市役所から区役所となったことで本庁舎への移転により住民サービスに重きを置くので、市民にとっては使いやすくなったはず。北側の広場から氷川神社参道につながり、さらに参道側に低層の図書館、カフェを配置したことでオープンな空間を形成している。図書館は明るく開放的で利用しやすい新しいタイプの図書館だ。
Ｂ：氷川参道沿いのカフェ、「絹」に見立てた外観（あのような材料を使ってるんですね）新たな「まちの核」といった感じです。少々残念なのは、休日にシャッターが降りている区役所フロアー。窓口だけでも開けるとかできればいいように思います。
Ｂ：すっきりしたきれいな見た目で、中に入った時の大空間もとてもよかったです。ただ、外側の糸（？）を意識した装飾が視線の高さによっては、中から中途半端にみえるところは気になりました。
Ｂ：建物はすばらしい（特に図書館内からみる巨大窓越しの参道の樹木）。また、区役所と図書館を一体化していること、図書館はどちらかというと機能優先で予算をあまりかけていない印象がよい。ただし、市全体の図書館整備との関係がよく分からないのでなんとも言えない面もある。
Ｂ：図書館と区役所の一体感が乏しいのが残念。せっかく集客が図られているので、民間への賃貸床がもっとあっても良かったのでは無いか。

B：図書館内部からの氷川参道の緑の見せ方が素晴らしい。建物全体が外部に開かれるデザインや仕掛けが欲しかった。1 階階段ホールも、もっと市民が気軽に活用できると良いと思う。

３　OM TERRACE について（全体景観、屋上広場、１階トイレ、レンタサイクルステーションなど）：BBBBBCCCCCCCCCD＝１．６

▲OM TERRACE（2017 年、アール・エフ・エー設計）

▲OM TERRACE 屋上広場

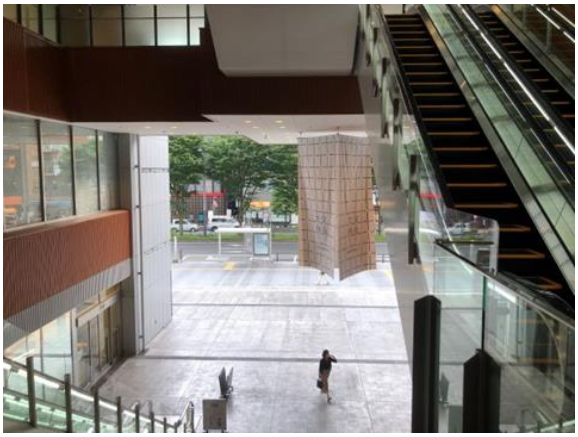
B：以前、藤村龍至氏の講演で紹介されたので、今回訪問できて確認できた。1 階部分は機能がコンパクトにまとまっており、屋上広場からは駅前を一望でき、イベントも開催される。駅前の限られたスペースをうまく活用している。
B：駅前の低利用の意外で不思議な場所という印象を持った。必要な公共施設をコンパクトにまとめたところも興味深い。
B：駅前広場に面する用地を暫定利用することは良いと思うし、屋上も開放されていて駅前を見渡せるのは気持ちよいが、空間デザイン面も用途機能面も、もう一つ楽しさが少ないのが残念。
B：今まで気づきませんでした。もっと目立つほうが良いのでは。
B：東口の景色が５０年前からあまり変わらない、ということは考えたことがなかったのですが、言われてみて初めて気づきました。屋上が憩いの場所として活用されていればいいですが、あまり使われていないような印象を持ちました。
C：駅広・拡幅用地の先行取得地を有効に活用しようという発想は素晴らしいと思うのですが、もう一歩踏み込んで、カフェとか UDCO サテライトデポーとかできていれば…。道路用地の占用だから難しいのかな？
C：屋上広場のイベントが無い時のデザインが今一歩である。
C：階段２か所とエレベーターまで設置しているのに、屋上広場が有効に活用されていないように見える。

Ｃ：テラスの上に日除けのようなものがあると待ち合わせ場所、休憩場所になるのでは。コンセプトと使われ方に乖離があるようで、期待していた施設だっただけに、ちょっと残念
Ｃ：ベンチだけあるが、屋根もない（雨や日差しがしのげない）ので、中途半端である。
Ｃ：屋上部分のスペースはアピール不足で活用度が低そう。屋上部に緑化無く殺伐としたイメージ。
Ｃ：広場が目立たず、町から隔離されている感じなのが残念。広場とレンタサイクルステーションの繋がりも弱い。どういう人を利用者として想定していたのか見えなかった。
Ｃ：屋上は外部からの視線がほとんどないため、危険な場所になるかもしれないと感じました。
Ｃ：「これが OMTERACE」と言われるまで気づかなかった。駅前に必要な機能を「それとなく」現代的デザインを隠しながら置いて、市民が無意識に利用してまちづくりに気付くことをねらったようにも思える。屋上広場が使われている状態で見ると全く違う印象だと思うが、今後まちづくりが進む中でこの広場も進化していくのでは。藤村龍二さんの脳内っていったいどうなっているんだろう？と思った。
Ｄ：トイレと自転車置き場に屋上を設置し居場所を確保したということは評価されるかもしれないが、残念ながら建物の機能以外のコンセプトが伝わってこない。屋上広場は「滞在したい（待ち合わせの場所とか）と感じさせる誘導と仕掛けが必要、例えば今回のグリーンプランツを置くとか。仮設小屋（それこそ週でシェア）を設置してコーヒーなどを提供、カフェ的にも利用。現在積極的に利用されていないというのは何か事情があるのでしょうか

４　大門２丁目中地区再開発、大宮門街について（全体景観、門街広場、商業ゾーン、レイボックホール、オフィス、駐輪場、駐車場、外構など）

：ABBBBBBBBCCCCCC＝２．３

▲**大門２丁目中地区再開発**（2022 年竣工、山下設計設計）



▲再開発ビル２階からの**辻広場**

Ａ：建物内を十文字に抜ける歩行者動線、吹き抜け広場など、まちに溶け込んでいるとみうけられました。ただ、劇場部分への動線がわかりにくかったかな。店舗の貼り付きがこれから、というところが厳しい現実ですね。
Ｂ：優等生的な再開発事業。スーパーブロックで地権者をまとめ、商業業務機能と市民ホール、そして開放通路を設けているのは良いが、２階以上のフロアが賑わいに乏しいのは難しいところ。
Ｂ：東口地区での初めて商業業務系用途（住宅を入れていない）で再開発を実現させた努力は評価できる。レイボックホール（市民会館おおみや）は再開発事業を成立させるための市の支援公共床とも言えるが、商業業務床との相乗効果が商業業務床の利用にまで現れていないのが残念。特に 1 階の十文字の路地沿いの商業床が埋まっていないのは、再開発事業床の賃利用設定が地元の路面店の賃料と乖離があるためなのかと思うと、再開発事業の限界も感じた。
Ｂ：必要な公共施設が再開発の中で整備されているのは評価できるが、空間としての多様性、心地良さ、コンプレックスとしてのクリエイティビティが感じられず残念。
Ｂ：駅近という場所に大ホールが入った再開発ビルを建てた点を評価。テナントは埋まるのか？　現時点では空きが目立つようだが。それと、正面や内部の作りは大胆で悪くないと思うが、側面や裏側は余りに殺風景な外装となっているのでは？
Ｂ：駐車場、駐輪場もしっかり整備され最新の設備が整っていた。立地上仕方ないのでしょうが、もう１ブロック分駅寄り（つまり駅前）にあったら更に魅力的な施設になったのですが。商業利用部分に空きが有るとの事でテナントのレベル維持が重要。
Ｂ：駐輪場があることを知れて実用的にありがたかったです。建物は綺麗ですが、図書館ほどの感銘は受けませんでした。ホールもエスカレーターで行くには遠いなと思いました。ホールについては利用してから改めて評価してみたいと思います。
Ｂ：外観は格好良いと思うが、歩いていて楽しい空間という感じではなかったと思う。もうちょっとゆっくり見ないと分からないかもしれませんが。
Ｂ：もう少し工夫が必要かと思いました。
Ｃ：進まなかった再開発事業の一つがようやくできた。周辺再開発事業のモデルとなり整備が促進させることを期待する。門街広場は大宮中央通り線に面して開かれた空間を形成し、駅前の密集した建物や人混みから開放感を感じる。建物１階の東西南北の通路は殺風景である。商業階を活かせばすずらん通り、一番街のような賑わいを誘導でき魅力が増すと思う。
Ｃ：広場と十字の通り抜けなど配慮がなされたことは良いことと思う。ホールへの導線のおもしろみがなかったので、もう少し豊かさを演出できたらよかったのでは。
Ｃ：公共サイドの空間の使い方にもう一歩工夫があるといいのでは。ガラッとした感じがしました。
Ｃ：建物全体としてはなかなか頑張っているように見えるが、商業施設のテナントが入っておらず、そもそもの計画コンセプトが間違っていたのではないか。

C：全体的に余裕のあるつくりは気持ちよかったのですが、特に公的施設部分で今後の採算性等に不安を感じました。
C：駅前の昭和的で賑わう空間を超えて垢抜けたデザインの再開発建築物を造ったのだろうと推測するが、今の状態はつまらない。・１階の十字状の通路は、すずらん通りの路地の延長が少しおしゃれになりながら門街に入って行くイメージを期待したが単なる通り抜け路になっている。・門街広場、各階の「辻」やテラスは「使い方を考えましょう」という宿題を投げかけられていると思うし、ひょっとしてそれが計画意図なのかと思えてきた。・レイボックホール：４階で公共施設エリアに入ると、展示物や活動している様子が見えるのは良いと思うが、明確な利用目的がないと入って行けない「敷居が高い」イメージ。・各階テラスやレイボックホールの共用スペースに、買い物やメディカルモールの利用のついでに休憩できたり、子どもを遊ばせるスペース、気軽なイベントスペースができるとよいのでは。各階の「辻」も雰囲気が変わるはず・・・・門街広場は、垂直性の高いイベント空間(各階からの「辻」から観たり聴いたり参加できるイベント)になるとよい。

５　Bibli について（公共施設のリノベーション、公民連携の仕組、コモンズプレイス、ハムハウス、専門店など）:AAAAAAAAAAABBBB＝４．５

▲Bibli（旧大宮図書館を公民連携リノベ）

▲ハムハウス（シェア本棚）

A：リノベーションは、空間計画が制限されるが、コンペを通じて、小気味よい場所の活かし方と創造的な活動を触発している。ハムハウスは若干窮屈な感じもしたが、コモンズプレイスも専門店も無理なく柔軟に活用できそうなスケールである。
A：非常にユニークな施設。もともとのヒューマンで心地よい建築空間をそのまま生かし、お洒落でこだわりのショップを誘致し、氷川参道に面してハイセンスできらりと光る場所になっている。
A：多くの人が訪れたいたことが、なによりもうまくいっていることの証左ではないでしょうか。氷川参道沿いでひと息つきたくなるような立地もありますし、面白いテナントさんをよく集めてきたな～、と感心しきり、です。
A：図書館として作られた建物をリノベーションしてうまく活用している。

Ａ：魅力的な店舗が集まっており、訪れて楽しい空間でした。事業スキームも他の参考になりそうなので、ぜひ事業会計をディスクローズして欲しい。それほど儲かりそうもない事業に投資した戸田建設も立派だと思う。
Ａ：氷川参道沿道の立地を活かしている。公民連携による旧図書館のコモンスペースの再生の提案が実践され実ったことに敬意を表したい。ハムハウスのシェア本棚の取組は、比較的遠方のファンを獲得しているようである。各テナントのコラボにより地元の方の利用がどこまで高まるか、施設全体の事業経営の継続のさらなる工夫を期待したい。
Ａ：春に見に行った時はテナントが半分程度しか入っていなかったが、今はかなり賑わっており、各々のテナントがとてもユニークで面白い。駅から遠い立地なので、このような営業をどこまで継続できるかが課題。
Ａ：施設の中に入るとみなさん頑張っている感をひしひしと感じました。ハムハウスに出店されている方々を迎えてのセミナーなども面白いのでは。
Ａ：公・民の連携、中間的な取り組みとして興味深い。書庫を書庫のまま利用して「隠れ家」的空間になっているのが面白い。
Ａ：公民連携の実現の芽としてとても評価できます、今後ここでつくられる若者ネットワーク（コミュニティ）が数年後に拡散されまちづくりのパワーになることを願って、現状では運営は厳しそうな感じ、
Ａ：面白い作りの建物なので、壊さずに利用されているのが嬉しいです。ハムハウスの貸し本棚は是非再訪したいです。キッチンカーの共有キッチンという使われ方がある、というのが勉強になりました。入り口近くの変わったベンチも、キッチンカーがいるときは食事をするのにとても便利でした。
Ｂ：なかなか面白い施設だと思いました。
Ｂ：旧図書館をこのように活用している点は大変よいと思う。規模や内容から見て、近隣の住民にどの程度利用されるかが重要かと思った。また、地域内や市全体に対する認知度が気になった。
Ｂ：移動図書館への搬入路を利用したシェアキッチンの運営等、旧図書館の良さを丁寧に調べ、使っていると感じました。
Ｂ：リノベしたとは言え、建物全体に廃れ感あり。現在入っているテナントさんのスペースも暫定的なしつらえで、あと何年使えるのだろうかと心配。もう少し大規模なリノベをして息の長い利用に結び付けられない？

６　上記の評価対象以外で、最も印象深かった場所とその理由（３つ挙げて下さい）。

○氷川参道：都市の中心部に、これだけの長さの緑豊かな空間があることは非常に素晴らしい。参道に面して魅力的な店舗が点在し、とても良い雰囲気を生み出している。

〇氷川参道：地元調整を乗り越えて一方通行化したのは素晴らしい。自転車の扱いが課題か。次の大規模補修の時には車道に誘導する設計が必要。

〇氷川参道：都市内の豊かな緑の軸は貴重。もっと生かすべき。

〇氷川参道：歩いていて楽しい空間

〇氷川参道：歴史性、緑の豊かさ、大宮の象徴。

〇氷川参道：市街地の中にこれだけの参道があるのは驚異だ。

〇氷川参道：豊富な緑溢れ散歩もできカフェもあり、しかも散歩するに足る距離が十分にある豊かな空間

〇氷川参道：新しい店が増え面白い状況になっていると思いました。

〇氷川参道：これぞ大宮の原点！　歩行者復権、頑張ってください。

〇氷川参道：街中にこれだけの規模であるのは貴重。昔は杉だったことを初めて知った。また、ケヤキ以外の木も少ないことも分かった。

〇氷川参道：並木が枝を張り、気持ちの良い空間となっている上に、沿道に魅力的な商業施設があり引き込まれそうになりました。

〇氷川参道緑道沿い：住宅地にお洒落なカフェやショップが点在して魅力的。

〇大宮図書館の読書スペース：緑と一体になった空間

〇平成ひろば：参道の広いスペースが、公園として居心地が良さそうだから

〇平成ひろば：かつて占拠されていた住宅を移転させ、参道と一体となる緑地を整備したこと。

〇住宅地区改良住宅：以前から見た目が好きだったが、名前と成立ちが分かって嬉しい。

▲氷川参道（歩車分離化区間）

▲氷川参道（歩行者専用化区間）

▲氷川参道（平成広場）

〇大宮公園：昭和の上質な市民の場をつくろうという意気込み（大宮プライド）を感じる建

物や施設が残っている。盆栽町も同様

〇埼玉県立歴史と民族の博物館：一目で前川國男と判る外観とホール

▲埼玉県立歴史と民族の博物館（前川国男設計）　**▲ホール内観**

〇旧市民会館おおみや：耐震等課題は多いのだろうが、何とか手を入れ現状の形で残せないか。

〇コワーキングスペース７F：仕事の場としてだけでなく、地域の人が昼寝をする場所、お茶を飲む場所、サードプライス（？）としても上手く使われていると思いました。

〇コワーキングスペース７F：仕事柄関心あり。利用者が多い。使いやすそうですね。

〇コワーキングスペース７F：なんだか「隠れ家」的で魅力的だった。

〇コワーキングスペース７Ｆ：10 年前から民間ビルで事業化している点が素晴らしい

〇ｺﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ７F・クロックキッチン：シェアキッチンなど、細やかな活動が期待できる。

〇クロックキッチン：是非食事に行ってみたい

▲コワーキングスペース７F　**▲クロックキッチン**（旧酒屋をリノベーション）

○クロックキッチン：空き店舗利用を、若い人の創業支援事業として成立させているシェアキッチンの事業スキームに感心した。
○UDCO・まちラボ大宮：大宮の潜在力を活かす触媒となる組織。
○UDCO・まちラボ大宮：セミナーを行っているスペースがいわゆる「会議室」「研修室」ではなく開かれている。誰でも参加できる、というメッセージに思えた
○UDCO+StreetPlantsProject：歩行者空間改善へのチャレンジ
○Street Plants 中央通り：道路空間利用の取組として最高峰だと思う。スキームのみならず、ポットやベンチのデザインも維持管理をよく考えており秀逸。

▲UDCO まちラボ大宮で説明を聴く

▲Street Plants 中央通り（UDCO の企画）

○さいたま新都心駅：大屋根が美しく機能的で、駅舎デザインとして秀逸。
○さいたま新都心駅：改札を出た瞬間に屋外の「青空」が見えて妙に感動。
○さいたま新都心駅～アリーナ間のデッキ：人々が留まれるスペースが有り、実際に多くの人の憩いの場になっていた。
○さいたまアリーナ：非常に大規模なアリーナだが、リニューアルにも多大な費用が必要という話がとても印象的だった。

▲アリーナ東側通路からのさいたま新都心駅

▲さいたま新都心けやき広場

〇大宮駅東口路地界隈：駅前からすぐに商店街が広がり、路地が巡って面白い。
〇大宮駅東口路地的商店街：すごい人で、すごい活力
〇大宮駅東口の景観：今となっては非常に昭和的で、懐かしい感じがする。いっそこのまま残すとか？
〇すずらん通り：大宮駅東口のアーケード商店街だが、横道や裏側の路地も含めて多くの人で賑わっている。

▲すずらん通り入り口

７　まだ利用が決まっていない旧市民会会館おおみやと旧大宮区役所の活用方法について、あなたのアイデアをお書きください。（自由記入）

★旧大宮区役所は駅前と氷川参道を結ぶメインの軸線上にあり、大門地区再開発との相乗効果を狙うべき。もともと公共用地なので、市場性が難しいけれど必要な機能を公民連携で思い切って導入したらどうか。旧市民会館は更地にして、南池袋のようなカフェテラス併設の芝生公園もありかも。

★無理に活用しようとするのではなく、暫定的な活用も柔軟に考えて、その場所に合う使い方を考えればよいと思います。

★利用が決まっていないのであれば広場として整備しておくのが良いと思う。将来、新たな公共施設が必要となったときや、連鎖的な再開発を実施する際に、種地となる公共用地があることは非常に有効なので、無理にハコモノは作らない方がいい。

★今すぐに新しい施設が必要ないなら、ひとまず公園など人の留まれるスペースとして活用できれば良いのでは。売却も視野？

★周辺に多くの住宅が立ち並んでいるのに広場が少ないように思いましたので、芝生の広場（新大宮区役所・大宮図書館や Bibli イベントなどにも活用できる）などはどうでしょうか？

★イベントスペースが良いと思います。

★旧市民会館おおみやは、隣接した高層建築群のエリアでで、参道や区役所と連携した緑溢れる広場（公園）とカフェやテラス、小さな野外劇場。旧区役所も広場（イベントやマルシェができる野外広場）埼玉の大学医学部と連携した病院や医療センター（子ども医療センター）。

★・旧大宮市役所：小学校の建替え(移転)用地。現小学校は、子どもが遊べる「原っぱ」的なオープンスペース

★・旧市民会館おおみや：期限とスペースを区切って、暫定利用したい団体を募集し、ハードル低く自由に使ってもらう。それから市民の意見を聞く場を設け考える。※既存建物が参

道と調和してよい雰囲気を作っていると思うので、「既存活用」のイメージ。
★市民会館大宮は建物の雰囲気が良くてぜひまた入ってみたいので、解説付きで一般公開してほしい。地下の小ホールもありますし、古い建物が好きな人にもウケるのではと思います。
★子育て支援関係の施設にするのが良いのではないか。マンションがあれだけあれば、需要はあるはずだし、居住地としての魅力も高くなるはず。
★ちょっと思い付きません。強いて言えば、見学した図書館はやや手狭な感じがしたので、もしさいたま市としての中央図書館として充実したものを作るのなら改めて市の中央図書館とするのもよいかと思います。それか学校とか？　建物が老朽化した学校（といった話があったように思う）をここに新設移転し、今の学校用地のあとを別途考えるとか。

８　大宮駅東口地域のこれからのまちづくりについて、何を大切にして取り組めば良いと思いますか。あなた提案をお書きください。
★まちづくりにとって重要なのは、街に必要な機能を充足させるだけでなく、その街の魅力を向上させることだと思う。大宮駅東口駅前のブロックについては、これまでは再開発すべき地区と思っていたが、この地域の賑わいと大宮門街の再開発ビルの状況を見ると、再開発事業によってこの賑わいを保つことは難しく、かえって街の魅力を損なうおそれもある。バスやタクシーなどの交通広場機能を高島屋街区に集約して整備し、現状の駅前広場を歩行者空間とすることで駅と街との一体性を高めれば、東口はもっと魅力的になるのではないかと思う。
★歩行者の回遊性を最重視して、郊外ＳＣにはない街の界隈性を維持すべき。現状は駅前広場が小さく駅と街が近いので、大規模な再開発や広場・道路整備はできるだけ控えて、駅と直結した歩行者ネットワークを介して個々の店舗が頑張る吉祥寺方式が理想だと思う。新設予定の東西自由通路から街へのスムーズな連続性と、一宮通りへの動線もカギ。
★東口のごちゃごちゃ感はこのまちの大きな魅力です。吉祥寺のように、コア部分はできるだけ現状の歩ける空間が残るといいですね。
★ごちゃっとした雰囲気も残しながら、盆栽や鉄道の町であるという特徴を生かしたまち作りをすると良いと思います。
★西口は車優先というか、散策しづらい感じがあるので、散策しやすいといいなと思います。ビルばかりになると景観としても面白くないですし、フラッと立ち寄りにくいので、古い建物も排除せずに、クロックキッチンみたいな利用のされ方が増えると人も集まって面白い街になるかなと思いました。
★氷川参道の緑の軸を活かして、道路空間の緑道化やストリートプランツを拡張し、駅前含め緑を活かすべきと思います。駅前の路地の飲み屋街空間をどう生かすかも大事と思います。

★地域のテーマは「氷川参道」・駅前の昭和レトロな雰囲気(路地空間を内包した街区)のにぎわいの理由。・BibLi やコワーキングスペース office7F のような自由な発想(公・民の中間を埋めるような)を広げる。・市民のまちづくりへの関心をひきだすこまやかな仕掛け
★大宮の商店街は全国チェーンが多くなり、面白みがなくなってきています。何とか個人商店を残してもらいたいです。
★大宮がとてもにぎわっていてびっくりしました。周辺地域から日々訪れてもらう、日常使いの街になるとよいと思います。地域の人が運営するお店を大切にできるといいなと思いました。
★大宮駅周辺で、バスがスムーズかつ便利に運行できる道路の新設や規制が必要かと思います。モノレールとか多分考えられないので。駅までのマイカー乗り入れを減らすための工夫が是非必要と思います。バス専用地下道をつくりそのまま地下ＢＴに直結するとか。あとは、大宮といえども人口減・少子高齢化の深刻化は将来避けられないので、それも見越し過大開発にならぬようにすること。
★これまで培ってきた歴史的要素を大事にしていくのか、新幹線駅、政令指定市の玄関口というポテンシャルを生かしてさらなる飛躍を目指して変貌していくのか、混とんとしたいまの東口駅前広場を見ながら、悩ましいな～と考えていました。一概に言えるものではないですよね…。答えになっていなくてすみません。
★大宮新都心とは違う大宮東口ならではの雰囲気が残ってほしいと思う。住民の思いを生かしつつ、大宮東口ならではの独自性とか文化は？（企画書に大宮ならではの賑わいとありましたが、それはどんな賑わい？）それらを持続させ未来に向かう手段は？参道を大宮のアイデンティティとして今後も街が行かされたら良いかと。
★駅前ロータリーは昭和の景観を保っていますが、今後ここをどうしたいのかを機能も含め関連する方々がしっかり整合すべき。どこもが「さいたま新都心」にならなくても良いと思います。

９　今回の企画全体に対する感想など

★大宮の公共施設再編というテーマでしたが、氷川参道という都市の環境軸、コワーキングスペースやＵＤＣＯなどの様々な活動、リノベーションで再生した Bibli など、非常に多様な視点から大宮の街を体験することができ、とても充実したまち歩きでした(Ku.T)。
★初秋の好天の中、大宮東口地区の各種施設を、さいたま新都心や氷川参道も含めて数多く巡ることができました。大宮東口は吉祥寺北口に似ているという発見もできました。評価対象以外でも、コワーキングやＵＤＣＯまちラボでの内部見学と説明など、興味深い場所も多かったです。最後に意見交換したハムハウスのシェア本棚は、手作り感あふれるとてもユニークな施設でした。ＮＰＯつくたまの活動にも敬服しました。古里さん、若林さん、関係の皆さん、大変ありがとうございました（O.R)。
★若林さん、古里さんたちの長年のまちづくりの仕掛けが若い人たちに引き継がれ花開き

つつある現状を見せていた頂き楽しかったです(I.Y)。
★大宮は普段あまり行きませんが、人が予想以上に多かったのに驚きましたし、緑や界隈的な空間が残り、ポテンシャルの活かし方次第では、とても魅力的な街になるのではないかと思いました。古里さん、企画ありがとうございました（F.Ma)。
★大宮は近すぎてちゃんと訪問したことが無かったが、盛り沢山で大変面白かったです。コースから溢れた氷川神社方面や盆栽町も近いうちに行ってみようと思います。ありがとうございました（M.Y)。
★今回歩いた、まちづくり全体も個々のプロジェクトも時間をかけた奥の深いもので、氷川神社、中山道と歴史性もあり、後からいろいろ調べています。今後、評価や感想が変わるかも知れません(S.M)。
★大変緻密・充実の企画でした。色々と勉強になりました。ありがとうございました(Ta.K)。
★大宮が大きく変わろうとしている、ということを目の当たりにしました。ありがとうございました（T.S)。
★大宮東口は初体験、２キロにもわたる参道を通し武蔵一の宮の氷川神社の底力を感じました。２キロにもわたる参道の雰囲気に感動、市民ニーズが見えなかったので、欲を言えば地域の方のお話しも思いも伺ってみたかったです（H.H)。
★大宮の町を歩くのは初めてで、大宮の地名の由来となる立派な神社が有ったり素晴らしい参道が有ったりで自分として大変興味深く歩かせていただきました。ありがとうございました(F.Miki)。
★ありがとうございました。楽しかったです（U.T)。
★大宮は現在さいたま市の一部なので、公共施設の整備も市の全体計画の中での位置づけを踏まえないとなんとも言えない面が強いと思いました（例えば図書館や市民会館)。それは、実際には大宮と浦和の調整になるかと思いますが。たとえば中核図書館が大宮なら中核市民会館は浦和、とか。また、「大宮区」単位での計画策定や実施の権限はどこまで考えられるのでしょうか、ということもあります。　それと、東口再開発に絡めて言えば、周辺には大宮西口のほか、隣駅のさいたま新都心の利用増、中心機能化も著しいようなので、これらとの調整を測らないと、（一層？）競合することになるのでは？もうパイは余り大きくならないのだから、それを前提に慎重に進める必要があろうと思います（T.I)。
★補足情報として教えてもらえた、新東西通路については、西口も東口も駅の北方面のアクセスが悪いので、できるととても便利になるし、街も活性化すると思います。今回、初めて参加させてもらいましたが、突然の参加にも関わらず受け入れていただきありがとうございました（H.I)。
■コーディネーターから
【参加者の評価は「民の工夫」で「利用」がされるほど評価が高くなる】
　大宮のまちづくりの先導役となっている連鎖型の公共施設再編についての皆さんの評価点は、3.4 とまずまずの及第点の評価が出ています。一方、各施設を見ると、移転新築され

た大宮区役所・図書館は 4.1、駅前のおもてなし施設 OM TERRACE は 1.6、市民会館おおみやが移転した大門 2 丁目中地区再開発は 2.3、旧大宮図書館の公民連携リノベ施設 Bibli は 4.5 と評価が分かれました。

一番評価の高かった Bibli は、民間による工夫されたコモンプレースとしての利用の提案がコストを押させえたリノベーションで実現し利用されていることに好評価が集まりました。一方同じ民間による大門２丁目中地区再開発は、第１種市街地再開発事業の権利変換による床価格が高くなるためか、店舗の利用が進んでいないことで評価点を下げています。一番厳しい評価を受けた OM TERRACE は、イベントが開催されていない状況での利用状況に大きな影響を受けたようです。新大宮区役所・大宮図書館は氷川参道の緑を活かし好評価でしたが、開かれた利用については評価が分かれ課題が指摘されています。

また、評価対象建築物以外では、氷川参道の緑と沿道利用やコワーキングスペース７F、UDCO の取組などについて好印象のコメントが集まりました。

【公共施設跡地の活用はイベント広場など「暫定利用」の積み重ねで】

まだ利用が決まっていない旧大宮役区役所跡地や旧市民会館大宮跡地の活用法法については、イベント広場や芝生公園など暫定的利用の提案をたくさんいただきました。UDCO のストリートプランツや氷川参道の歩専化などは、社会実験的手法による「暫定利用」の成果でもあります。これからも、跡地等の公共空間の「暫定利用」を積み重ね、市民の共感を得ながらまちの魅力を高めることが大切なのだと感じました。

【これからの大宮のまちづくりへのキーワドは「緑と界隈性（ごちゃっとした雰囲気）」】

参道の緑は都市の環境軸としてさらに活かす。駅前広場は、交通広場機能を別に集約して歩行者空間にする、大宮のまちの魅力はごちゃっとした雰囲気であり、街の「界隈性」を活かすこと、それらを既に実践している「吉祥寺」をお手本にしてはという提案をいただきました。

また、再開発事業ではこうした大宮の街の魅力を損なうおそれがあること、大宮 GCS プランで計画される新たな東西自由通路や交通広場を整備するためにある程度は再開発事業が必要でしょうが、界隈性と参道の緑など大宮ならではの街の魅力を楽しめるよう、歩行者の回遊性を大切にしなければということ、等のご指摘をいただきました。

目利きの皆さんの大宮の街への評価や提案、ご指摘はとても参考になります。ありがとうございました。都市づくりＮＰＯつくたまの情報紙での大宮特集を発行してきた経緯もありますので、今後の情報発信や企画に活かしていきたいと思います。（古里 実）

▲**参加者集合写真**(Bibli 前にて)